

令和7年6月23日

朝来市長 藤 岡 勇 様

朝来市総合計画審議会
会長 草 郷 孝 好

第3次朝来市総合計画改訂版（後期基本計画）について（答申）

令和6年8月23日付諮問第7号において、第3次朝来市総合計画後期基本計画の策定について諮問を受け、市民の視点及び専門的見地から審議会において慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申します。

市長におかれましては、この答申を十分に尊重して第3次朝来市総合計画改訂版（後期基本計画）を策定されるとともに、計画の推進に当たっては、下記のことを十分に留意されることを要望します。

記

1 将来像の実現に向けて

前期に引き続き、計画の推進に当たっては、常に、将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち」に結びついているかを意識するとともに、とりわけ、「人と人とのつながり」「人と社会とのつながり」を大切にし、対話と協働を活用しながら、市民が幸せを実感できるように各種取組を推進していただきたい。

2 計画の推進に当たって大切な視点と追加した視点

- (1) 一人ひとりが自分らしい暮らしや生き方を互いに認め合うことで育まれる市民の主体的な活動は、朝来市のまちづくりの原動力やまちの活力等になっています。これらの市民や地域の力は、朝来市のまちづくりの推進力であり、大きな強みです。これからも引き続き、市民が主役となる市民自治のまちづくりを継承・発展させ、地域の誰もが支え合い、生涯にわたって活躍できる、誰一人取り残されない社会の実現に向けて、まちづくりを進めていただきたい。
- (2) 社会の成熟化が進み、市民ニーズが更に多様化する中で、情報を共有し、市民との対話を重ねることで、さまざまな意見を把握するとともに、市民と行政のコミュニケーションを活かして、協働によるまちづくりを進めていただきたい。
- (3) 新たな時代を見据え、施策全般に若者の視点を積極的に盛り込むとともに、将来の世代が地域に希望を持ち、働き、暮らし、子育てしながら、幸せな未来を描ける持続可能なまちを目指して、まちづくりを進めていただきたい。